



2023年4月7日

義務教育最終年度

『いよいよ』というか『とうとう』と言うべきか、中学三年生になりましたね。

中学三年生と言えば、すぐに『受験』という言葉が思い浮かべがちですが、受験でしっかり戦いぬくためにも、義務教育最後の1年間を大切に過ごしてほしいと思います。そのためにも、先ずは一つひとつの行事で自分ができることを精一杯やり遂げましょう。

実は、行事に正面から向き合って完全燃焼できると、受験にも真剣に向き合えるのです。それほど行事を通して培う力は、受験に向けて大きな自信につながるものとなります。中学校生活最後となる一つひとつの行事に仲間とともに全力で取り組むことができる学年になりましょう。

○3学年の職員から

担当学級	担当教科	名前	3年生のみなさんへ
3年1組 (担任)	英語		中学校生活最後の1年間、何事においても悔いの残らないよう、全力で取り組みましょう！
3年2組 (担任)	技術		今年も大好きな皆さんと生活できることをうれしく思います。最高の思い出を作ろう！
3年3組 (担任)	家庭		みなさんと笑顔溢れる毎日を過ごしたいと思っています。よろしくお祈りします！
あさかぜ1組 (担任)	英語		目の前にいる人を大切に、みんなで支え合って、最高の学年にしましょう！
3年1組 (副任)	国語		今年度は、みなさんの進路全般のお世話をすることになりました。宜しくお願いします。
3年2組 (副任)	数学		この学年でよかったと思えるような1年にしましょう。1年間よろしくお祈りします。
3年3組 (副任)	社会		皆さんの進路実現のために全力でサポートします。宜しくお願いします。

真の竹となれ！

1学年の学年通信の表題は『たけのこ』2学年では『わかたけ』でした。『たけのこ』のように成長し『わかたけ』のようなしなやかさを身につけてほしいという思いを込めたものでしたが、今年は『まだけ（真竹）』としました。

日本には600種余りの竹がありますが、その中でも『真竹』はしなやかに曲がり、加工性能が高いため、古くから建築材料や垣根、茶道用具などの素材として利用され、姿を変えて人々の生活場面で多岐にわたる活躍をしてきました。また、竹は植林しなくても『たけのこ』が生え、『若竹（わかたけ）』に成長し、自らの力で繁殖活動を繰り返していきます。そんな『真竹』のように、これからの世の中において、みなさんにしなやかに姿かたちを変えつつ、自らの力で活躍してほしいという願いを込めました。

学校のリーダーとして、しなやかな発想で活躍の場を広げ、かつ自分の力で未来を切り拓くことができる人へと成長してくれることを願っています。



保護者のみなさまへ

保護者のみなさま、お子さまのご進級、誠におめでとうございます。本日、123名の子どもたち全員の元気な笑顔に会えたことを三学年職員一同心より嬉しく感じております。

さて、中学3年生になると、子どもたちは自分の進路に向かい合わなければならない『迷いと不安』の時期を迎えます。これまでの中学校生活では、様々な場面で仲間と共に悩んだり考えたりしながら道を切り拓くことを学び身につけて参りましたが、受験に向けては『自分と向き合うこと』と、『自分自身で選択と決定を行うこと』を求められます。

しかしながら、現実として十五に満たない子どもたちが、自分自身を見つめ自分の将来を決定することは、とても難しいことです。そこで、ご家庭において、折につけ進路に向けての話をさせていただくをお願いいたします。その際、進路を『高校選択』と捉えるのではなく、『未来への選択肢』とお考えいただき、子どもたちに話をさせていただければと存じます。また、高校受験においては、これまでお伝えしていますように、毎年のように変化していることを踏まえ、学校からのお知らせと併せて、ご家庭でも最新の情報収集をお願いしたいと思います。

子どもたちの素晴らしい未来に向けて、少しでもお力になれるよう、学年職員一同力を合わせている所存です。至らぬこともあるかと存じますが、どうぞ1年間ご協力のほど宜しくお願いいたします。

太宰府中学校三学年職員一同